

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和 3 年度第 2 回高松市国際交流推進協議会
開催日時	令和 4 年 1 月 20 日(木)午前 10 時～11 時
開催場所	高松市防災合同庁舎 5 階 502 会議室（オンライン開催）
議 題	(1) 会長、副会長の選任について (2) 高松市の国際交流事業について (3) その他について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席者	<委員> 石原委員、稲井委員、オブリー委員、岸本委員、篠原委員、高城委員、 時岡委員、畑委員、原委員、平田委員 <市> 市長（途中退席）、文化・観光・スポーツ部長、観光交流課都市交流室 （事務局）
傍聴者	0 人 （定員 5 名程度）
担当課及び 連絡先	観光交流課 都市交流室（Tel839-2197）

審議経過及び審議結果

議題(1)について

- ・ 互選により、原委員を会長に選出
- ・ 互選により、時岡委員、平田委員を副会長に選出
- ・ 会議の公開について承認

意見交換

○コロナ禍でどういった交流を考えているか。

- どの都市とも、相互訪問を通して交流してきたが、それが叶わないためオンラインやビデオレターを活用しながら進めているところである。高松市・セント・ピーターズバーグ市姉妹都市提携 60 周年の記念行事でも、オンラインで情報を送り合い、市民に見ていただけるようにしている。（※オンデマンド配信している）

○現在高松市に 5,100 人くらいの外国人がいるということだが、内訳が分かれば教えてほしい。

- 在留資格別だと、永住者が約 1,400 人、技能実習 2 号が約 700 人、留学が 520 人、特別永

住者が約 400 人となっている。

○高松市内における民間、地域レベルでの国際交流や多文化共生のイベントは、最近どういった状況なのか。

●国際交流については、(公財)高松市国際交流協会や牟礼エルバートン親善委員会、学校同士の交流を行っている弦打校区など、直接の交流はすべて止まっており、できる範囲でオンラインを使いながら細々と実施しているとお聞きしている。

また、多文化共生については、仏生山国際交流会が留学生や技能実習生を集めてイベントを行っているが、最近中止になったとお聞きしている。積極的な活動を常にされている団体なので、コロナが落ち着き、また出来るようになればと思う。

○南昌市の友好会館で日本語を勉強された方が、毎年何名か留学に来ているが、友好会館は現在どういった状況なのか教えてほしい。

●高松・南昌友好会館は南昌市にあり、友好都市提携 5 周年を記念して、南昌市が提供した土地に高松市が建物を建てたもの。一昨年が友好都市提携 30 周年だったため、南昌市は、記念事業の 1 つとして、自らの資金で老朽化した友好会館のリニューアル工事を実施したところである。高松市日中友好協会の日本語教師派遣事業は中止となっているが、(新しい友好会館は、)高松市だけでなく南昌市が提携を結んでいる世界 40 都市の紹介や情報提供を行う国際交流の拠点となっているとお聞きしている。

○南昌市のある江西省と岡山県が友好提携を締結している。岡山県と江西省が行っている交流活動と、高松市と南昌市が行っている交流活動の平仄が合っているほうがいいと思うので、岡山県の交流の動きを横目で見ながら動いたほうがよいのではないかと。

※ ○委員 ●事務局